

○松下議長 通告2番目、13番、福山晴美議員、総括方式で質問をお願いいたします。
福山晴美議員。

○福山議員 おはようございます。よろしく申し上げます。

13番、福山晴美です。議長のお許しをいただきましたので、通告に従い一般質問いたします。

今回は、1番目として、紀の国わかやま国体の開催準備について、2番目に、岩出市巡回バス運行について、質問させていただきます。

まず、1番目の紀の国わかやま国体の開催準備についてお聞きいたします。

6月議会では、準備状況とともに、リハーサル大会での注意点についてお聞きした中で、リハーサル大会の位置づけとして、本大会開催へ練習の場と位置づけているとのことをお聞きしました。8月のハンドボール競技については、私も当日の朝、ボランティアとして会場に行きましたが、台風接近による大雨洪水警報が発令されたため、競技会は開催されましたが、残念ながら、ボランティア、競技補助員の参加、おもてなしコーナーへの出店は全て中止となりました。このとき、かき氷を準備してくださっていたボランティアの方には、本当に大変やったと思います。

職員さんは、台風の対策も含め、ハンドボール競技の開催は大変であったと思いますが、練習の場として、当初予定していたことは、全くできなかったのではないかと感じていました。ハンドボール競技で検証できなかった点については、11月のボウリング競技とバドミントン競技の中で予定どおりできたのかどうかと気になっています。

そこで、まず1点目として、ハンドボール競技も含めて、3つの競技のリハーサル大会について、ボランティアの方々や職員さんの動き、また、おもてなしコーナー、駐車場等の環境整備面においてどうでしたのか、お聞きします。

2点目として、リハーサル大会は、国体本番を想定した大会であります。例えば、バドミントンの競技は、日本リーグの2部リーグを充てたものであり、参加チームも男女とも8チームの計16チームでした。来年の本番は、もっと多くのチームが参加されることと思いますので、参加チーム、参加人員等はさらに大規模になると思っています。

既に想定されていると思いますが、来年の本番を見据えて、今回のリハーサル大会において、どのような問題点がありましたか。参加された選手、監督の皆さん、競技会、職員さん、ボランティアの方々からどのような意見があったのか、反省点や課題を掘り出し、その対策を検討し、本大会の円滑な運営に反映させていくこと

が求められると思いますので、どのように把握されているのか、お聞きいたします。

2点目に、岩出市巡回バスの運行について質問いたします。

岩出市内を巡回しているバスについては、時々市民の方からいろいろな声を聞くことがあります。先日も高齢者の方からお話をいただいて、リハビリに通っているので、病院への交通手段の確保に毎度大変だということを知りました。話によると、「私ら年寄りはお出かけと云ったら病院か買い物に行くことがほとんどで、歩いていくことが多い。遠いところに行くのは大変でね。バスが走っているのは知っているんやけど、なかなか利用しにくくて、こんなこと云ったら笑われてしまうけども、病院めぐりみたいなバスなんかあったら便利でいいなと友達と話したんよ。」というのを私も聞きまして、もしかしたら、病院めぐりというのはあれかもわからないですけども、将来そういうバスも必要になってくるのかなと正直思いました。

これからますます高齢化が進み、近い将来、4人に1人が高齢者になると聞いたことがあります。新聞紙上で、近年、高齢者の交通事故が増加の傾向にあり、その対策の手段の1つとして、免許証を自主返納していただけるようお願いしているさまざまな事情により、それも困難なことがあるという記事を見ました。核家族化が進む中、高齢者世帯も増えてきています。年をとると今まで不自由でなかったことが不自由になってきます。そのようなときに免許証を返納してしまうと心配だと思うことも原因の1つではないかと考えられます。

そのためにも1人でもたくさんの方に、岩出市内巡回バスのことをよく知っていただき、今あるバスを市民の足にできればと考えます。岩出市巡回バスは、平成8年11月から、福祉バスとして高齢者や障がい者など、みずから交通手段を持たない交通弱者の交通利便の向上を図るため、市内の巡回運転を開始し、当初巡回バスは、市役所を中心に市内公共施設等きめ細かく運行していたが、運行時間や便数、また、停留所の設置などの課題等もあり、住民から利便性を求める声が多くあったことを聞いています。

その後、平成21年6月から、これまでの4ルートから3ルートに見直され、そのルートは、病院やスーパーなど利便性を重視した設定となり、また、平成23年4月からダイヤ改正等も行い、その結果、利用実績は、平成21年度実績の3万2,640人、1便当たり3.69人であったのが、平成25年度の実績では3万8,866人、1便当たり4.47人と、比較すると利用人数としては6,226人、1便当たり0.78人増と、乗車人員も伸びているようです。

市では、このように住民に利用しやすい、常に巡回バスのルートやバス停を見直

し、通院、買い物等の利便性の向上を図り、交通弱者である高齢者や障がい者などの生活向上の確保に取り組んでくれています。

岩出市は、和歌山県北部では唯一人口が増加している街で、県内で一番若い街ですが、市も高齢化の波は避けることができず、交通弱者である高齢者の増加は避けられないものであるという意見もあります。そうになると、今後、ますます高齢者等が買い物や通院など地域内の日常生活の移動手段として、巡回バスのネットワーク化が必要不可欠であると私は考えます。

そこでお伺いたします。本年10月に実施した巡回バスアンケート調査についてですが、1点目として、アンケート調査ではどのような意見が出されましたか。どのような意見が多くありましたか。

2点目として、今後の乗員数を増やす方策についてどうお考えなのか、お聞きします。

○松下議長 ただいまの質問に対する市当局の答弁を求めます。

市長公室長。

○湯川市長公室長 紀の国わかやま国体の開催準備の1点目、リハーサル大会の結果についてお答えいたします。

大会を開催するに当たりまして、運営を円滑に行うため、運営主体を総務部と競技会場部に分けておりまして、総務部では、総務係、受付案内係、おもてなし係及び弁当美化係の4つの係、競技会場部では、医療救護係、輸送駐車場係、消防警備係、競技会場係、式典係及び記録速報係の6つの係に分け、任務終了後に問題点や反省点を踏まえた上で、報告書を提出していただくこととしておりました。ボランティアさんにつきましては、各係の補助という立場で参加していただき、競技進行につきましては、県の各協会に運営をしていただきました。

大会結果について、まず、ハンドボール競技ですが、8月9日、台風の接近に伴いまして午前9時22分に大雨洪水警報が発令されたことから、ボランティア及び競技補助員の活動は中止、おもてなしコーナーについては閉鎖しており、当初予定の検証には至っておりません。参加チームは8チーム、選手、監督の参加者数は116名、観客数につきましては、9日、10日の2日間で845人、職員体制は延べ104人です。駐車場は、市役所東側駐車場と大宮緑地総合運動公園の駐車場を活用し、後催県からの視察として、鹿児島県、福井県から5名の視察に来られております。

ボウリング競技では、参加チームは44チーム、選手、監督の参加人数は198名、観客数は11月6日から9日までの4日間で427人、職員体制は延べ161人、ボランテ

ィアについては延べ71人となっております。駐車場につきましては、当初は東公園プール駐車場及び市民総合体育館駐車場からバスによる送迎を予定しておりましたが、協会から会場の近くにと要望がございましたので、急遽、株式会社コメリ様、創価学会様のご協力をいただきまして、大会用の駐車場として利用させていただいております。後催県からの視察では、岩手県と福井県から5名の視察がございました。

バドミントン競技では、参加チームは男女とも8チームの計16チーム、選手、監督の参加者数は244人、観客数は11月22日から24日までの3日間で合計3,583人、職員体制は延べ167人、ボランティアでは延べ54人であります。駐車場は、市民総合体育館の駐車場で対応できておまして、後催県からの視察では、愛媛県、岩手県、鹿児島県から、これも5名の方が視察に来られております。

次に、2点目の問題点、課題の把握についてですが、各係からの報告書、選手、監督に対するアンケート調査、ボランティアさんからの意見等を参考にして、現段階で把握している点について、お答えさせていただきます。

ハンドボール競技では、台風等の不測の事態が発生した場合の対処について、よい訓練になったと思いますが、問題点として、選手控室と体育館を結ぶ動線の雨よけ、それからアップ会場がなかったということについての指摘がございました。限られた屋外スペースの中ですので、この点については、協会と協議していく予定でございます。

ボウリング競技では、会場が民間施設ということで制限もありましたが、問題点としては、選手控室のモニターとアナウンス、それからボール置き場のスペース、エレベーターがないのでボール等の移動が大変であったというような指摘をいただいております。施設によりまして、できること、できないことがありますので、これも協会、また、紀の川ボウルとの協議を進めてまいります。

最後に、バドミントン競技では、大会関係者、選手、それから一般観客の方の動線の区別、それからタクシーの乗車場所の確保、おもてなしコーナーで軽食、それから子供の預かり所、観客席が少ない、案内表示等についての指摘がございました。それぞれの問題点について検討してまいります。

以上、各競技別の問題点、課題でございますが、こういった問題点の指摘のほか、職員、ボランティアさん等の対応がよくて気持ちよかった、施設が利用しやすい、トイレがきれいでもよかった等の意見もいただいております。

なお、議員のご指摘にもありましたように、国体本番は、リハーサル大会と比べ

て参加チーム数、観客数等、あらゆる面で大規模になることが想定されます。会場の施設、駐車場、おもてなし分野等、全ての分野において規模の違いを想定した取り組みを進めてまいりたいと考えております。

以上です。

○松下議長 総務部長。

○佐伯総務部長 議員ご質問の2番の岩出市巡回バスアンケート調査の意見についてでございます。

今回のアンケートは、高齢者等交通弱者の日常生活における交通手段の確保を主な目的として運行を行っており、岩出市巡回バスに関して、利用者の満足度調査及び今後の運行改善に関する資料や情報として活用するため、10月1日から31日までの1カ月間実施いたしました。

アンケート用紙及び回収ボックスを巡回バス車内及び公民館を初めとする市内各公共施設に設置するとともに、市のウェブサイトや将来利用者となる可能性のある方を対象として、老人クラブ連合会を通じ、市内老人クラブ会員への回答を依頼し、実施を行いました。回収数は計233通でございます。そのうち巡回バスを利用していると回答された方について、122通、全体の約52%でございます。

なお、詳細につきましては、現在、分析中でございますが、その回答内容を見ますと、巡回バスを利用していないと回答された方の理由のほとんどは、自家用車を利用しているとのことでしたが、先ほど議員ご指摘のように、将来、運転免許証を返納した際には、利用したいとの意見も多数ございました。

高齢化社会の進展により、利用される方の増加が予想されることから、今後も巡回バスを初めとする各バス路線の確保、維持が必要となってくるものと考えてございます。

また、少数でございますけれども、巡回バスの利用方法がわからない、巡回バスそのものを知らないといったご意見もあったことから、今後、より一層の周知、啓発を必要であると再認識をいたしました。

巡回バス利用者の方の回答には、利用の目的地として、スーパーマーケットなどの商業施設や病院、金融機関、市役所などが多く、運行の目的である日常生活の交通手段としての利用が定着しつつあると考えてございます。

意見としましては、住んでいる団地の近くにバス停があれば利用しやすい、もっと病院等の近くにバス停があればうれしい、バス停表示をわかりやすくしてほしい、バスのとまれるゾーンを設置するなどの意見がございました。現在、大阪方面バ

ス・紀の川コミュニティバスとの乗り継ぎの利便性を向上させたことによりまして、巡回バス利用者は、平成21年6月のダイヤ改正以降、本年10月末時点での利用者数は約20万人を超えました。このように利用者数が年々増加傾向にあり、運行ルートが定着していることから、今後は、アンケートでいただいた意見を参考として、各バス停の乗降者数などを勘案し、より利用者にとって利便性の高い運行が可能となるようなバス停配置の研究を行ってまいりたいと考えます。

なお、意見の中にありました巡回バスの利用方法などの周知につきましては、市の広報紙への掲載や市政懇談会、老人クラブの集まりなど、住民の方が集まる場において、機会を捉え、説明や啓発を行うことにより、1人でも多くの利用者が増えればと、このように考えております。

○松下議長 再質問を許します。

福山晴美議員。

○福山議員 まず、リハーサル大会についてであります。

3競技の大会結果と現状で把握されている問題点と課題についてお聞きしました。私もこの3競技見せていただいたんですけども、それぞれの競技で、選手の人はもちろん一生懸命なんですけど、応援をされている方の熱い思いというのも伝わって、すごいよかったなと思いました。

今度、このリハーサル大会の、今後、反省点を本大会に生かして、すばらしい国体にしていただきたいと思いますと思いますが、さっきもおっしゃってたように、やっぱり気になるところは、リハーサル大会と国体の本番の規模の違いであると思います。国体の方が参加チーム数もちろん多くなると思いますし、観客の方も市内外から多くの方が来られると思います。駐車場を初め観客席等で全ての点において、リハーサル大会以上のものが求められると思いますので、万全の状態为国体を迎えられるような準備をお願いしたいと思います。

もう1点、気になっているところは、いわゆる皇族の方々が来られるかどうかであります。前回の黒潮国体では、天皇陛下が岩出市にお見えになられたことを覚えております。あのときは、多くの市民が沿道に並んでお迎えした記憶があります。仮に、岩出市に天皇陛下がお越しになられるということになれば、岩出市にとっても大変名誉なことであり、市民挙げてお迎えしなければならないと思いますが、皇族の方々がお越しになられるかどうかという決定はどうなるのでしょうか。また、決定した場合の対応は考えているのかどうか、お聞きしたいと思います。

もう1点、巡回バスについてであります。

いろいろ見直していただくことについては、よろしくお願ひしたいと思ひます。

1 点目の岩出市の観光資源の有効活用の 1 つとして、平成 27 年度移設完成予定の一乗閣及び歴史的価値の高い根来寺を中心とした風光明媚で散策などに楽しむことができる名所として、特に、春の桜の季節とか、秋の紅葉の季節に交通の利便性を高めることがとても大切だと考えています。この時期、市外、県外からもたくさんの方が来られます。岩出市民の皆様もバスを利用して、大門、一乗閣、根来寺と散策してもらいたいのではないかと考えているんですが、この時期に巡回バスの臨時の増発や時間調整を工夫していただけるような、そんなお考えはありませんか。

もう一つ、小中学生には、夏休みなど長期の休みがあります。この時期に図書館の利用をしてもらい、読書学習の充実、自立心の向上の手段の 1 つとして巡回バスの利用を促進するようなお考えはありませんでしょうか。

○松下議長 ただいまの再質問に対する市当局の答弁を求めます。

市長公室長。

○湯川市長公室長 再質問にお答えいたします。

リハーサル大会を開催するに当たっては、各競技ともに運営面、施設面、協議会との打ち合わせを行いまして準備を進めてきました。運営面におきましては、当日、食い違いとか、当初の予定どおりの動きができない場合もありましたが、1 回、リハーサル大会を経験したことによりまして、今後、解消できるものというふうに考えております。

それから、施設面のほうですけれども、規模を考えてというご指摘でございます。先ほども答弁しましたように、リハーサル大会と比べて、かなり大規模になるということは想定しております。限られたスペースの中で、有効に利用できるように改善できるところは改善してまいりたいと考えております。

それから、行幸啓ですけれども、県の国体推進局におきまして、県内全ての開催市町村会場施設を対象に、行幸啓行事ができるかどうか調査中でありまして、正式決定は会期の 1 カ月前になるというふうに聞いております。

皇族の方々が来られる場合の対応につきましては、県、それから県警等の関係機関との調整が必要であると考えております。正式に決定した場合は、市民の皆様方にお知らせするとともに、議員の皆様方にもご協力をお願いしたいと考えておりますので、その節はよろしくお願ひいたします。

○松下議長 総務部長。

○佐伯総務部長 福山議員の再質問にお答えいたします。

まず、1点目の一乗閣の完成等に伴った根来寺への観光客が増える、それに当たって巡回バスをもっと利用できないのか、あるいは臨時バス等のお考えはないのかについてでございます。

一乗閣がオープンいたしましたら、多くの方が、おっしゃるように、根来寺周辺を訪れることが予測されます。そういう面から考えますと、バス停の設置を行っていかなければならないのかなど、このように考えているわけですが、あわせて巡回バスの利用によりまして、多くのお客さんが訪問できるように呼びかけてまいりたいと、このように思います。

それから、市外、県外の方についてはJRを利用することが考えられますので、岩出駅から一乗閣や根来寺へ訪れることも想定できるので、その点のことを視野に入れたいと思います。

それから、あと臨時バスの増便についてなんですけど、これについては一般路線と多少異なりますので、ちょっと難しいのではないかと考えます。そのほかにより方法がないのかということも含めまして、和歌山バス那賀さんとも協議をいたしまして研究してまいりたいと、このように考えます。

それから、巡回バスを利用して、児童・生徒の読書学習、いわゆる図書館等への利用はどうかという件についてなんですけども、この件につきましては、巡回バスについての乗車定員は13名になっております。それから、あと料金をいただくというふうになってございます。それから、あと子供たちの読書活動の期間をどういうふうな設定にするか、いろんな課題もあるように考えられます。この件につきましては、市の教育委員会とも十分協議をさせていただいて検討してまいりたいと、このように考えておりますので、よろしく申し上げます。

○松下議長 以上で、福山晴美議員の一般質問を終わります。